

科目区分	専門教育科目	科目名	相談援助	科目コード	20Y680	担当者	荒木 正平				
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独				
		授業区分	演習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育と相談援助のかかわりや必要性を理解し、保護者・子どもへの相談援助・支援の基礎を身につける。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育士として相談援助にかかわることの必要性を理解する。					○	◎	○	◎	○	
2.	相談援助の考え方やその視点、援助の進め方などの基礎を理解する。										
3.	自己の意見を明確にしつつ他者の意見にも耳を傾け、協力して課題に取り組む姿勢を身につける。										
4.	子育て支援に関わるさまざまな社会資源を学び、連携の有用性を理解する。										
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
基本的な技術や知識について、まずは講義形式で授業を実施する。さらに、テーマに沿った具体的な事例などを用いて演習（個人ワーク・グループワーク）を行い、相談援助に不可欠であるコミュニケーション力や人間関係力を養う。						定期試験（50%） 提出物（20%） 発表内容（20%） 受講態度（10%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
個人の提出物は、必要に応じてクラス全体に紹介する形でのフィードバックを行う。グループ学習での検討内容は、クラス全体に成果を還元するため、発表と質疑応答の時間をとることを原則とする。						予習・復習の時間として、一回の授業につき60分程度は確保してほしい。					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	子育て家庭の現状・課題と、相談援助の意義					教科書・レジュメから、子育て家庭の現状と相談援助の意義を予復習する					
第2回	保育と相談援助					教科書・レジュメを参考に、保育と相談援助の関わりについて予復習する					
第3回	相談援助とは何か①					教科書・レジュメを参考に、相談援助とは何かについて予復習する					
第4回	相談援助とは何か②					教科書・レジュメを参考に、相談援助とは何かについて予復習する					
第5回	相談援助の過程（進め方）					教科書・レジュメを参考に、相談援助の過程について予復習する					
第6回	相談援助者の資質・態度と技術を学ぶ①（自己覚知）					教科書・レジュメを参考に、自己覚知の重要性等について予復習する					
第7回	相談援助者の資質・態度と技術を学ぶ②（他者理解）					教科書・レジュメを参考に、他者理解の重要性等について予復習する					
第8回	相談援助者の資質・態度と技術を学ぶ③（基本的態度等）					教科書・レジュメを参考に、相談援助者の基本的態度等について予復習する					
第9回	相談援助者の資質・態度と技術を学ぶ④（記録）					教科書・レジュメを参考に、相談援助記録の重要性等について予復習する					
第10回	相談援助を行う前に					教科書・レジュメを参考に、生活課題・社会資源の把握について予復習する					
第11回	相談援助の過程①（インテークとアセスメント）					教科書・レジュメを参考に、インテークとアセスメントについて予復習する					
第12回	相談援助の過程②（援助計画）					教科書・レジュメを参考に、援助計画の立案・作成について予復習する					
第13回	相談援助の過程③（実施・評価）					教科書・レジュメを参考に、実施と評価のプロセスについて予復習する					
第14回	困難事例への対応（個人ワークとグループワーク）①					困難事例への対応について、個人・グループの考えをまとめる					
第15回	困難事例への対応（個人ワークとグループワーク）②					困難事例への対応について、個人・グループの考えをまとめる					
試験	定期試験を実施する										
教科書	「演習・保育と相談援助」 監修 前田敏雄 みらい					受講生へのメッセージ 保育者には、子ども本人への理解を深めることはもちろん、保護者や周囲の支援者との連携も求められます。本講義で相談援助の意義と価値を理解し、「聴く」力、「共感する」力を高め、よき支援者となれるよう成長していきましょう。					
参考書等	なし										